



まるやま

新潟市立丸山小学校
学校だより 7 号
令和 7 年 1 2 月 1 9 日

学校目標 **みんな かがやく**
未来につながる力 **自分力 関係力 創造力**

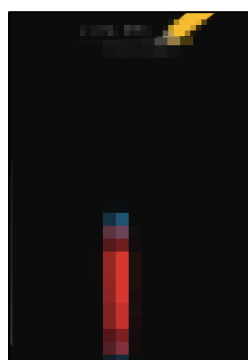


自分の色

明日から冬休みです。宿題だけでなく、自主学習や新たなチャレンジ、おうちのお手伝いなど、長い休みにしかできないことをして、有意義な 19 日間（土・日を含めて）を過ごしてほしいと思います。おとといの全校集会で子どもたちに次のような話をしました。（プレゼンの画面を基にダイジェストで紹介します。）

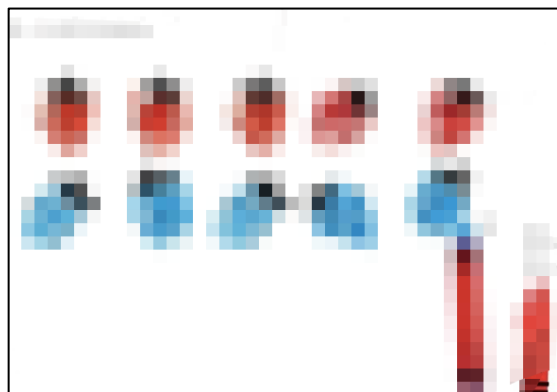


① マイケル・ホール作「RED ～あかくておあいクレヨンのはなし～」という絵本を読み聞かせします。読んでくださるのは図書館司書の先生です。

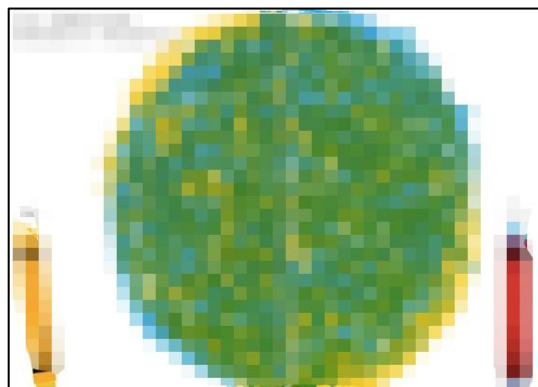


① レッドは赤いクレヨンです。でも、赤くぬるのが得意ではありません。

② 先生はもっと練習すればできるようになると思い、「赤いイチゴを描くからマネして描いてごらん」と言います。

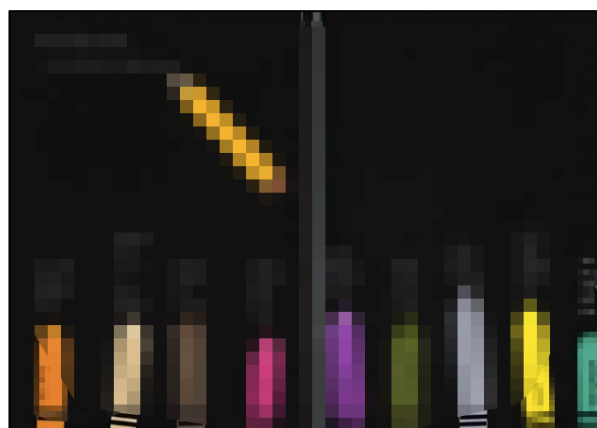


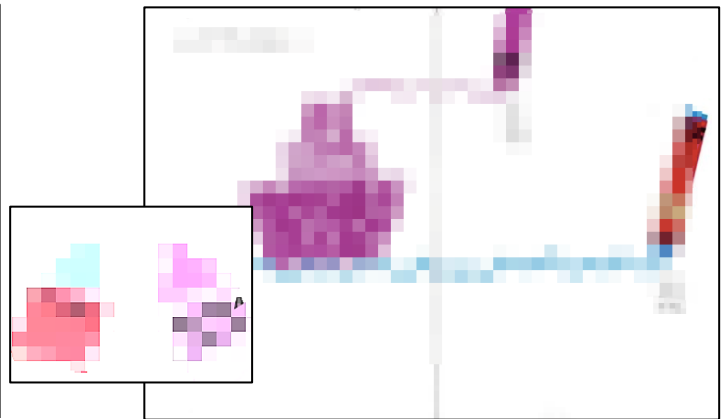
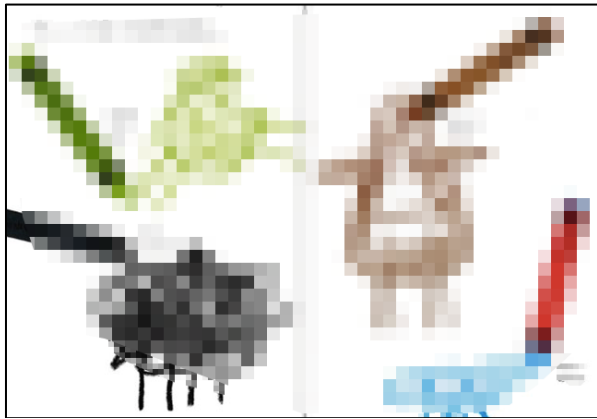
③ でも、うまくいきません。お母さんは、他の友だちとならうまいくと考え、「イエローさんと 2 人で丸いミカンを描いてごらん」と言います。



④ でも、できあがったのは大きな緑色のマルでした。

⑤ クラスのみんなは、「努力すれば何とかなる」「がんばれ」「ゆっくり待とう。時間が必要だ」とやさしく見守ってくれます。



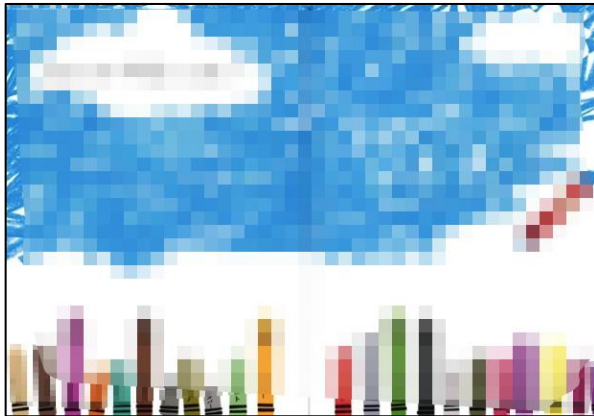


⑥でも、いくら待っても変わりません。

ある日、新しい友だちパープルさんがやって来ました。

パープル「ぼくの船に海を描いてくれる？」 レッド「描けないよ、ぼくは赤だもの。」
でも、レッドがやってみると…。

レッド「かんたんだったよ！」パープル「やるじゃないか！」



⑦レッドはどんどん「青色」でクジラやブルーベリー、ジーンズなどを上手に描き始め、とうとう、きれいなきれいな青空をキャンパスいっぱいに描いたのです。

レッドは「赤」ではなく「青」だったのです。

(読み聞かせはここまで)



⑧ (ここから校長の話)

「RED」のお話のように人のよさは見た目だけでは判断できません。一人一人のよさや得意なことは違います。だからそれぞれのよさを尊重すること、お互いのよさを引き出し合うことが大切なのです。まさに丸山小が大切にしている「自分力」「関係力」と同じです。

丸フェスもそのような気持ちでみんなが取り組んだことで、楽しいイベントになりました。みんなの力を合わせ、大きなことを成し遂げる。それはまさに「創造力」なのです。

と、こんなお話をしました。このように全校集会や各行事、毎日の授業で、「あなたらしさを出していいんだよ」「自分のよさも相手のよさも大切にしよう」というメッセージを私たちは発信し続けています。丸フェスで全校合唱したい曲が「世界で一つだけの花」に選ばれた(アンケートにより)ことから、自分の色を出すことの価値が子どもたちに伝わっていることが分かります。さらには、スマイリータイム活動(縦割り班活動)でもそのことを強く感じます。私たち教師が指示しなくても、黙々と清掃に取り組む姿、チームで仲良く遊ぶ姿をたくさん見てきました。これは丸山小の「強み」です。子ども一人一人がよさや力を発揮し、子どもたち同士で教え合い、認め合い、支え合う学校づくりを目指して、これからも教育活動に取り組んでいきます。後期前半が今日で終わりました。これまでのご理解とご支援、本当にありがとうございました。よいお年をお迎えください。(文責:校長)